

109 食と住の文化史

【会場】 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室2
 【時間】 13:30~15:30 / 【定員】 25名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・14	木	食の文化論VI -「和食」の素養とこれから-	越中史壇会 会長 木本秀樹
2	5・28	木	加賀藩の山野河海の産物と将軍献上	兵庫県公立大学法人芸術文化観光専門職大学 助教 安藤 竜
3	6・11	木	住の文化論VI	レトロフィット代表 早稲田大学理工総研 研究員
4	6・25	木	住の文化論VII	森本英裕
5	7・9	木	食べものづくりIV	市郷土博物館
6	9・3	木	くらしから変わる住まいIV	主幹学芸員 中本八穂
7	9・17	木	古代の食の調理とやまい	越中史壇会 会長 木本秀樹
8	10・1	木	立山信仰と芦峯寺の食文化	富山県 [立山博物館] 副主幹 細木ひとみ
9	10・15	木	博覧会で描かれた理想のくらし	市教育委員会生涯学習課 副主幹 尾島志保
10	10・29	木	能登半島地震と能登の建物	金沢工業大学建築学科 教授 山崎幹泰

110 歴史史料をひもとく

【会場】 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室2
 【時間】 13:30~15:30 / 【定員】 25名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・18	月	近世史料をよむ -水害と向き合う人びと「満水留」より-	富山県公文書館 史料調査専門員 認証アーキビスト 榮 夏代
2	6・1	月	昭和史をよむ -昭和前期の暮らし-	
3	6・15	月	アーキビストの仕事 -県公文書館の活動を事例として-	
4	6・29	月	歴史資料にふれる -「守る」「活かす」「学ぶ」-	市民俗民芸村 学芸員 榮 夏代 兼子 心
5	7・13	月	中世史料をよむ -災害・疫病をくぐり抜けて-	市民俗民芸村 学芸員 兼子 心
6	8・17	月	中世史料をよむ -戦国期にかけての医薬の発展-	
7	9・7	月	昭和史をよむ -戦前・戦後 激動の売薬業-	
8	9・28	月	古代史料をよむ -災意と思想-	越中史壇会 会長 木本秀樹
9	10・19	月	古代史料をよむ -海を渡った人びと その2-	
10	11・9	月	昭和史をよむ -明治以降の「古代」の一齣-	